

# TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 令和3年度生徒指導だより第8号 9月2日

教育目標：未来を拓く妙典中生徒<明るく・正しく・美しく>

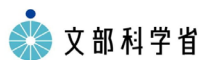
目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒

## ◎2学期開始にあたって

長かった夏休みも明け、2学期が本格的にスタートとなりました。コロナの感染状況や暑さにより十分に体を動かすこともできなかったことと思います。まだまだ暑い日が続きますので、体調に気をつけて生活してほしいと思います。

さて、1学期終業式でも話をしましたが、長期休業明けは大人でも気持ちが前向きになれないことがあります。自ら気持ちを奮い立たせて頑張りたいと思う反面、心配な時期でもあります。来週から教育相談があるので、少しでも心配なことがある人は担任の先生に相談してくださいね。

### <文部科学省メッセージ>



中学生・高校生のみなさんへ  
～不安や悩みを話してみよう～

夏休み明け、新たに学校が始まることで、自分自身の進路の問題や、家庭内の問題、あるいは友人関係などの不安や悩みが出てくるかもしれません。そんな時には、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰にでもいいからあなたの悩みを話してみませんか。必ずあなたの味方になってくれる人がいます。絶対に、一人で悩みを抱え込まないでください。

どうしても周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットなどを使って、相談窓口にあなただけの悩みを話してみてください。

また、あなたの周りに元気がない友達がいたら、ぜひ積極的に声をかけてあげてください。あなたの声かけが、友達の不安や悩みを和らげるにつながります。

「君は君のままでいい」  
(相談窓口PR動画)



<https://youtu.be/C177k8vR06I>

電話やメール、ネット等の相談窓口  
(リンク先に相談窓口一覧があります。)

0120-0-78310



[https://www.mext.go.jp/s\\_mext/shouten/soitoochiyou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/s_mext/shouten/soitoochiyou/06112210.htm)

令和三年八月

文部科学大臣 萩生田 光一

### <市内一斉あいさつ運動キャンペーン>

9月は市内一斉あいさつ運動キャンペーン期間です。1学期には風紀委員が中心となり、あいさつの大切さについて発表をしてくれました。いろいろなか所で“妙典中生のあいさつは素晴らしい”とほめていただいています。このような時期ですので、声を出さず、目線を合わせてのお辞儀（会釈）でも構いません。積極的に行いましょう。

市川市教育委員会 あいさつ運動キャンペーンポスター

いつでも どこでも  
ちかくの人に  
かわすあいさつ  
わたしから

市川市教育委員会では、道徳教育推進の一環として、9月1日～30日、市内一斉のあいさつ運動キャンペーンを行っています。

### <服装についてのお知らせ>

ジャージ・体操服登校は9月30日までの予定ですが、状況により変更の場合があります。その際には再度連絡します。また、妙典中学校では衣替えの時期は設けておりません。制服を着用する場合、気温や各自の体感温度に合わせて、ブレザーを着る等服装を調節してください。

### <体操服の変更について>

体操服の変更に関するアンケートへの回答ありがとうございました。アンケートの結果、無地のタイプに変更することを決定致しました。来年度の新入生からの適用となります。なお、1, 2年生につきましては、現状の体操服のままです。(希望購入可)

## 2学期 よいスタートをきるために

### ～足下の大切さ～

#### ○「まずは足下から」

教育に関して研究された森信三先生という方がいらっしゃいます。この方が「三つのしつけ」について本に書かれています。「あいさつ・返事・靴をそろえる」。この三つをできるようにすることが大事であるそうです。

靴は軽視されがちですが、実は生活面の乱れは足下にでます。遅刻ぎりぎりに来る、あるいは遅れてくる、自分の下駄箱を使わず、空いているところに靴を脱いでいたり、上履きにも落書きしている、そして土足へ……足下が乱れている人はどんだらしなくなっていくます。

また、靴を踏んで歩くことで、歩き方や姿勢が変わります。姿勢が悪くなると、心にも悪影響がでてきます。

生活指導の目標は、しつけをきちんとすることではありません。子どもの個性を伸ばし、自分の力で社会生活を送れるようにすることです。

つまり、かかをつぶして上靴を履いたり、忘れ物をしたり、シャツをズボンから出しているなどのだらしなさは、その子どもの可能性を伸ばし、個性を伸ばすのに妨げになるので、指導する必要があります。しつけの大切さもその点にあります。

「注意される前に自分で意識する」ことを大切にし、よりよい2学期を送ってください。



1度しゃがんで靴を揃えるのは、

けじめをつけ、それぞれ物事にはルールがあることを認識する動作です。

例えば、園で靴をそろえると、園のルールを、

「さあ、今から守るぞ！」と認識できるのです。

友達の家には友達の家ルール、

自分家には自分の家のルールがあり、

社会には社会のルールがある。

靴を揃えることで、けじめがつき、

ルールを守ろうという意識が向けられますよ。

辻中 公著 魔法の日めくりメッセージ